

随意契約結果表(平成30年10月～平成31年3月契約分)

公表期間：掲載した日の翌日から1年間（平成32年4月末日まで）

公表場所	契約担当課	連絡先
小倉けいりん HP	公営競技局競輪事業課	093-931-7586

件名	納入場所等	契約相手方の照合又は名称	契約金額(円)	契約締結日	随意契約とした具体的な理由	根拠法令※	予定価格(円)	備考
北九州メディアドーム自家発電設備運転監視業務委託	北九州市小倉北区三萩野三丁目1番1号	ヤンマーエネルギーシステム(株)北九州サポートセンター	2,700,000	H30.10.7	<p>本業務委託は、現在稼動中であるメディアドーム発電機のディーゼル機関(6N280L-EN型×1台 ヤンマー製)の運転監視業務である。</p> <p>この発電機は、競輪開催日には商用電源の停電に備え、商用電源と並行して常時稼働しており、車券の発売や払い戻し、レースでの事故防止等、競輪事業の安定した運営に重要な役割を担っているものである。</p> <p>国の指針により、ナイトー競輪の開催のためにはバックアップ電源を確保する必要があり、発電機を稼働しておく必要があるが、制御設備が復旧したとしても、小倉競輪で最も規模の大きなG I レースである競輪祭開催期間中までは、万全を期すためにも、発電機の自動運転時に制御設備の不具合が生じた際には手動に切り替えることにより運転継続を行うこととし、競輪の運営に影響を与えないようにしたい。こうした対応が可能なのは発電機の製造業者のみである。</p> <p>以上から、ヤンマー(株)の保守管理部門の関連会社であり、メディアドームの設備や運営状況を熟知した業者であるヤンマーエネルギーシステム株式会社に特命する。</p>	公営企業法施行令第2号	非公表(特命随意契約で、継続性あり)	

(注)「法令根拠※」は次のように記入しています。

○公営企業法施行令：地方公営企業法施行令第21条の14第1項中の該当号

随意契約結果表(平成30年10月～平成31年3月契約分)

公表期間：掲載した日の翌日から1年間（平成32年4月末日まで）

公表場所	契約担当課	連絡先
小倉けいりんHP	公営競技局競輪事業課	093-931-7586

件名	納入場所等	契約相手方の照合又は名称	契約金額(円)	契約締結日	随意契約とした具体的な理由	根拠法令※	予定価格(円)	備考
北九州メディアドーム自家発電設備運転監視業務委託（その2）	北九州市小倉北区三萩野三丁目1番1号	ヤンマーエネルギーシステム(株)北九州サポートセンター	1,242,000	H30.11.14	<p>本業務委託は、現在稼働中であるメディアドーム発電機のディーゼル機関（6N280L-EN型×1台 ヤンマー製）の運転監視業務である。</p> <p>この発電機は、競輪開催日には商用電源の停電に備え、商用電源と並行して常時稼働しており、車券の発売や払い戻し、レースでの事故防止等、競輪事業の安定した運営に重要な役割を担っているものである。</p> <p>国の指針により、ナイトー競輪の開催のためにはバックアップ電源を確保する必要があり、発電機を稼働しておく必要があり、万全を期すために発電機の自動運転時に制御設備の不具合が生じた際には手動に切り替えることにより運転継続を行うこととし、競輪の運営に影響を与えないようにしたい。こうした対応が可能なのは発電機の製造業者のみである。</p> <p>以上から、ヤンマー(株)の保守管理部門の関連会社であり、メディアドームの設備や運営状況を熟知した業者であるヤンマーエネルギーシステム株式会社に特命する。</p>	公営企業法施行令第2号	非公表（特命随意契約で、継続性あり）	

(注)「法令根拠※」は次のように記入しています。

○公営企業法施行令：地方公営企業法施行令第21条の14第1項中の該当号

随意契約結果表(平成30年10月～平成31年3月契約分)

公表期間：掲載した日の翌日から1年間（平成32年4月末日まで）

公表場所	契約担当課	連絡先
小倉けいりんHP	公営競技局競輪事業課	093-931-7586

件名	納入場所等	契約相手方の照合又は名称	契約金額(円)	契約締結日	随意契約とした具体的な理由	根拠法令※	予定価格(円)	備考
北九州メディアドーム発電設備過負荷制御装置組込業務委託	北九州市小倉北区三萩野三丁目1番1号	ヤンマーエネルギーシステム(株)北九州サポートセンター	2,214,000	H30.12.27	<p>本業務委託は、現在稼動中であるメディアドーム発電機のディーゼル機関（6N280L-EN型×2台 ヤンマー製）の運転制御装置における過負荷抑制装置組込業務である。</p> <p>この発電機は、競輪開催日には商用電源の停電に備え、商用電源と並行して常時稼働しており、車券の発売や払い戻し、レースでの事故防止等、競輪事業の安定した運営に重要な役割を担っているものである。</p> <p>国の指針により、ナイター競輪の開催のためにはバックアップ電源として発電機を稼働しておく必要があるが、現在の既設発電機制御盤は製造から20年を経過（減価償却資産の耐用年数15年を大幅に超過）しており、発電出力制御が大変不安定な状態となっていることから、1日も早い対応が望まれる。</p> <p>平成30年10月7日には、発電制御システム故障により、ミッドナイト競輪が中止となり、発行済み車券の払い戻し対応を余儀なくされる事態となった。</p> <p>そのため、発電制御システムの補助装置として、過負荷を検知した際に出力制御を行い、それでも出力が上昇した場合には定格出力範囲付近まで出力低減抑制を自動的に行う装置をNo.1発電制御盤及びNo.2発電制御盤に組み込むこととし、競輪の運営に影響を与えないようにしたい。</p> <p>この過負荷抑制装置組込業務は、発電機を運転しない競輪の非開催日のみにしか実施できないが、競輪開催の頻度が高く、整備日数は1～2日程度しか確保できない状況である。このような短期間で競輪の運営に支障を与えず業務遂行できる業者は、発電機製造業者であり、先の発電制御システム故障時の検証に立会い、更に平成30年10月～12月まで発電機の運転監視業務を遂行して現場に精通しているヤンマーエネルギーシステム(株)北九州サポートセンターのみである。</p> <p>以上から、ヤンマー(株)の保守管理部門の関連会社であり、メディアドームの設備や運営状況を熟知した業者であるヤンマーエネルギーシステム株式会社に特命する。</p>	公営企業法施行令第2号	2,268,000	

(注)「法令根拠※」は次のように記入しています。

○公営企業法施行令：地方公営企業法施行令第21条の14第1項中の該当